証券コード： 4523

2026年度（2027年3月期）
第2四半期（中間期）決算

参考資料

2026年11月10日

エーザイ株式会社

お問い合わせ
PR部： TEL 03-3817-5120
ＩＲ部： TEL 03-3817-5122
https://www.eisai.co.jp/

［将来予想に関する事項と事業等のリスク］

本発表において提供される資料ならびに情報は、現在における予想、目標、評価、見通し、リスクを伴う想定などの不確実性に基づくものを含んでいます。従って、さまざまな要因の変化により、将来予想などが実際の結果と大きく乖離する可能性があります。リスクや不確実性には、一般的な業界・市場の状況、金利・為替変動などの国内外の経済状況に加え、各国の関税政策を含む通商政策の変更、医薬品価格政策の変更、国家・地域間の対立の高まりや紛争の長期化・拡大などの地政学的な不確実性が含まれます。当社は、こうした不確実性に備え、原材料の複数購買や複数工場での製造体制の構築などの柔軟なサプライチェーン体制の整備等に取り組み、当社事業への影響を精査、最小化するための対応策を検討しています。

当社グループの業績を大幅に変動させる、あるいは投資判断に重要な影響を及ぼす可能性のあるリスクや不確実性の詳細に関しては、当社の前期有価証券報告書の「事業等のリスク」をご参照ください。ただし、当該記載は当社グループに係るすべてのリスクや不確実性を網羅したものではなく、現時点において予見できない、あるいは重要とみなされていない他の要因の影響を将来的に受ける可能性があります。また、当該記載は本発表日現在において判断したものであり、文中の将来に関する事項はその発生あるいは達成を保証するものではありません。

目次

1. 連結損益計算書 …… 1
2. 営業利益からコア営業利益への調整 …… 2
3. セグメント情報 …… 2
4. 報告セグメント別情報 …… 3
5. 主力品売上収益 …… 7
6. 連結包括利益計算書 …… 8
7. 連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
8. 資本的支出及び減価償却費の状況 …… 10
9. 連結財政状態計算書 …… 10
10. 連結四半期業績の推移 …… 12
11. 株式の状況 …… 15
12. 従業員数 …… 15
13. 主要開発品 …… 16

為替レート

		米国 （米ドル／円）	欧州 （ユーロ／円）	英国 （ポンド／円）	中国 （人民元／円）
2025年度　中間期	期中平均レート	146.03	168.05	195.95	20.29
	期末日レート	148.88	174.47	199.86	20.88
2025年度　通期	期中平均レート	150.77	174.78	202.10	21.24
	期末日レート	159.88	183.41	211.03	23.11
2026年度　中間期	期中平均レート	159.37	184.35	214.05	23.52
	期末日レート	157.35	178.34	208.11	23.45
2026年度	予想レート	153.00	180.00	205.00	22.50

・当社の連結財務諸表はIFRS会計基準にて開示しています。

・当社グループは、セグメントを医薬品事業とその他事業に区分しており、医薬品事業を構成する日本、アメリカス（北米）、中国、EMEA（欧州、中東、アフリカ 、ロシア、オセアニア）、イーストアジア・グローバルサウス（EAGS：韓国、台湾、インド、アセアン、中南米、南アフリカ等）の5つの事業セグメントを報告セグメントとしています。

・当資料中の数字は、四捨五入で表示しています。

1. 連結損益計算書

（億円、%）

	2025年度				2026年度						
	中間期実績	売上比	通期実績	売上比	中間期実績	売上比	増減率	増減額	通期予想	売上比	進捗率
売上収益	4,000	100.0	8,254	100.0	4,700	100.0	17.5	699	8,835	100.0	53.2
医薬品事業 売上収益	3,933	98.3	8,108	98.2	4,621	98.3	17.5	688	8,700	98.5	53.1
その他事業 売上収益	67	1.7	146	1.8	79	1.7	17.2	12	135	1.5	58.6
売上原価	881	22.0	1,912	23.2	1,046	22.3	18.7	164	2,095	23.7	49.9
売上総利益	3,119	78.0	6,342	76.8	3,654	77.7	17.2	535	6,740	76.3	54.2
販売費及び一般管理費	2,040	51.0	4,353	52.7	2,352	50.1	15.3	312	4,415	50.0	53.3
販売費	1,106	27.6	2,300	27.9	1,331	28.3	20.4	225	―	―	―
人件費	622	15.6	1,359	16.5	666	14.2	7.0	44	―	―	―
管理費他	312	7.8	694	8.4	355	7.6	13.9	43	―	―	―
研究開発費	755	18.9	1,587	19.2	881	18.8	16.7	126	1,640	18.6	53.7
その他の損益	21	0.5	39	0.5	△6	△0.1	―	△27	15	0.2	―
営業利益	344	8.6	441	5.3	414	8.8	20.4	70	700	7.9	59.2
コア営業利益(参考情報)	335	8.4	501	6.1	431	9.2	28.6	96	700	7.9	61.5
金融損益	25	0.6	69	0.8	2	0.0	△91.9	△23	―	―	―
税引前中間(当期)利益	369	9.2	510	6.2	416	8.9	12.7	47	740	8.4	56.3
法人所得税	111	2.8	105	1.3	104	2.2	△6.3	△7	―	―	―
中間(当期)利益	259	6.5	405	4.9	313	6.7	20.9	54	540	6.1	57.9
中間(当期)利益の帰属											
親会社所有者	246	6.2	386	4.7	299	6.4	21.5	53	523	5.9	57.2
非支配持分	12	0.3	20	0.2	13	0.3	7.9	1	―	―	―
中間(当期)包括利益	373	9.3	1,053	12.8	219	4.6	△41.5	△155			

EPS(円)	87.37	136.78	106.18	185.00
DPS(円)	80.0	160.0	80.0	160.0
ROE(%)	―	4.4	―	5.9
調整ROIC(%)(参考情報)	―	6.8	―	8.7

・前年同期からの増減率を示しています。
・コア営業利益：営業利益から一過性の収益・費用を除外した本質的な収益力を示す指標。営業利益からの調整内容は2ページをご覧ください。
・EPS：基本的1株当たり中間(当期)利益、DPS：1株当たり配当金、ROE：親会社所有者帰属持分当期利益率
・調整ROIC(Return on Invested Capital)：税引後コア営業利益÷(親会社所有者帰属持分(除く為替換算差額)＋純有利子負債)

＜コメント＞

■売上収益	・抗がん剤「レンビマ」、アルツハイマー病治療剤「レケンビ」および不眠症治療剤「デエビゴ」が引き続き伸長したことに加え、円安の進行の影響により大幅に増加
■販売費及び一般管理費	・「レケンビ」への積極的な資源投入により増加 ・米メルク社へ支払う「レンビマ」の折半利益を費用計上：当期 897億円、前年同期 756億円
■研究開発費	・抗MTBRタウ抗体「E2814」および新規選択的オレキシン2受容体作動薬「E2086」などの重要プロジェクトへの積極的な資源投入を継続したことにより増加 ・アライアンスパートナー負担額：当期 111億円、前年同期 152億円
■為替による影響額	・売上収益：＋332.2億円、営業利益：＋35.4億円
■為替感応度 (1円の円安に対しての年間影響額)	・売上収益：米ドル ＋22.2億円、ユーロ ＋2.5億円、英ポンド ＋0.5億円、人民元 ＋68.4億円 ・営業利益：米ドル △5.0億円、ユーロ ＋0.6億円、英ポンド △1.0億円、人民元 ＋28.4億円

2. 営業利益からコア営業利益への調整

（億円、%）

	2025年度	2026年度		
	中間期実績	中間期実績	増減率	増減額
営業利益	**344**	**414**	**20.4**	**70**
(−) 有形固定資産売却損益	△20	−	−	20
(+) 事業再編に伴う解雇給付費用	11	△1	−	△12
(+) 訴訟等による多額の賠償または和解費用	−	17	−	17
コア営業利益	**335**	**431**	**28.6**	**96**

・前年同期からの増減率を示しています。
・2026年度の「事業再編に伴う解雇給付費用」には、2025年度に引当計上した見積りと実績の差異が含まれます。
・2026年度の「訴訟等による多額の賠償または和解費用」には、現在係属中のBiogen Inc.との欧州地域に係る仲裁に関連する費用が含まれます。

3. セグメント情報

1）売上収益

（億円、%）

	2025年度		2026年度						
	中間期実績	通期実績	中間期実績	構成比	増減率	為替影響除く増減率	通期予想	構成比	進捗率
医薬品事業（報告セグメント）計	3,933	8,108	4,621	98.3	17.5	9.2	8,700	98.5	53.1
日本　医薬品事業	1,125	2,292	1,167	24.8	3.7	3.7	2,335	26.4	50.0
アメリカス　医薬品事業	1,417	3,004	1,792	38.1	26.5	16.0	3,370	38.1	53.2
米国	1,375	2,906	1,730	36.8	25.8	15.3	3,240	36.7	53.4
中国　医薬品事業	662	1,307	826	17.6	24.7	7.8	1,470	16.6	56.2
EMEA　医薬品事業	388	815	437	9.3	12.6	1.7	730	8.3	59.8
EAGS　医薬品事業	341	688	399	8.5	17.0	10.0	795	9.0	50.1
その他事業	67	146	79	1.7	17.2	10.9	135	1.5	58.6
連結売上収益	4,000	8,254	4,700	100.0	17.5	9.2	8,835	100.0	53.2

・外部顧客に対する売上収益を示しています。
・前年同期からの増減率を示しています。

2）セグメント利益

（億円、%）

	2025年度		2026年度				
	中間期実績	通期実績	中間期実績	構成比	利益率	増減率	為替影響除く増減率
医薬品事業（報告セグメント）計	1,087	2,080	1,402	98.2	30.3	29.0	21.7
日本　医薬品事業	336	664	366	25.6	31.3	8.9	8.9
アメリカス　医薬品事業	299	640	466	32.6	26.0	55.6	46.4
中国　医薬品事業	263	477	329	23.0	39.8	25.1	9.4
EMEA　医薬品事業	64	75	101	7.1	23.1	59.0	61.2
EAGS　医薬品事業	125	223	141	9.9	35.4	12.4	2.4
その他事業	31	45	25	1.8	32.0	△19.2	△16.1
研究開発費	△660	△1,384	△785	−	−	18.8	12.2
親会社の本社管理費等	△113	△300	△228	−	−	101.6	101.6
連結営業利益	344	441	414	−	8.8	20.4	10.1

・前年同期からの増減率を示しています。
・当第2四半期（中間期）より、経営の実態をより適切に表示するため、従来、親会社の本社管理費等に含めていた当社グループが米メルク社に支払う抗がん剤「レンビマ」の折半利益を、各報告セグメントの利益に反映しています。当期における変更前の期間および前期のセグメント情報は当該変更を反映しており、「4. 報告セグメント別情報」においても同様に当該変更を反映しています。

4. 報告セグメント別情報

1）日本 医薬品事業

（億円、%）

	2025年度		2026年度			
	中間期実績	通期実績	中間期実績	増減率	通期予想	進捗率
売上収益	1,125	2,292	1,167	3.7	2,335	50.0
医療用医薬品	1,011	2,067	1,056	4.5	2,110	50.0
一般用医薬品等	115	225	111	△3.2	225	49.3
セグメント利益	336	664	366	8.9	ー	ー
日本　医療用医薬品　主力品売上収益						
不眠症治療剤 デエビゴ	220	465	250	13.2	485	51.5
アルツハイマー病治療剤 レケンビ	117	244	130	11.6	330	39.5
ヤヌスキナーゼ阻害剤 ジセレカ	87	184	107	23.7	190	56.4
抗がん剤 レンビマ	70	141	72	2.3	135	53.4
慢性便秘症治療剤 モビコール*	41	87	72	75.9	171	42.1
慢性便秘症治療剤 グーフィス*	43	88	49	13.3	90	54.6
末梢性神経障害治療剤 メチコバール	41	86	46	11.4	84	54.7
抗てんかん剤 フィコンパ	41	82	39	△4.0	65	59.9
パーキンソン病治療剤 エクフィナ	34	69	37	9.4	70	52.9
分岐鎖アミノ酸製剤 リーバクト*	35	68	36	3.9	62	58.2
成分栄養剤 エレンタール*	35	70	34	△4.4	63	53.7
日本　一般用医薬品等　主力品売上収益						
ビタミンB2主剤「チョコラBBプラス」等 チョコラBBグループ	81	159	80	△0.3	165	48.7

・前年同期からの増減率を示しています。

＊EAファーマの取り扱い製品です。

2)アメリカス　医薬品事業(北米)

(億円、%)

	2025年度		2026年度			
	中間期実績	通期実績	中間期実績	増減率	通期予想	進捗率
売上収益	1,417	3,004	1,792	26.5 <16.0>	3,370	53.2
米国	1,375	2,906	1,730	25.8 <15.3>	3,240	53.4
セグメント利益	299	640	466	55.6 <46.4>	ー	ー
アメリカス　主力品売上収益						
抗がん剤 レンビマ	1,144	2,372	1,359	18.7 <8.8>	2,425	56.0
米国	1,131	2,342	1,342	18.7	ー	ー
(百万米ドル)	(774)	(1,554)	(842)	<8.7>	(ー)	<ー>
アルツハイマー病治療剤 レケンビ	193	446	327	69.8 <55.6>	775	42.2
米国	193	446	325	68.6	ー	ー
(百万米ドル)	(132)	(296)	(204)	<54.5>	(ー)	<ー>
不眠症治療剤 デエビゴ	42	105	77	86.2 <71.3>	135	57.3
米国	16	42	36	126.0	ー	ー
(百万米ドル)	(11)	(28)	(23)	<107.1>	(ー)	<ー>

・前年同期からの増減率を示しています。

・増減率の＜　＞内は為替の影響を除いた数値を示しています。

3)中国　医薬品事業

（億円、%）

	2025年度		2026年度			
	中間期実績	通期実績	中間期実績	増減率	通期予想	進捗率
売上収益	662	1,307	826	24.7 〈7.8〉	1,470	56.2
セグメント利益	263	477	329	25.1 〈9.4〉	ー	ー
中国　主力品売上収益						
抗がん剤 レンビマ	127	250	138	9.2 〈△5.5〉	260	53.1
アルツハイマー病治療剤 レケンビ	79	124	97	22.7 〈6.0〉	190	51.0
めまい・平衡障害治療剤 メリスロン	63	125	96	52.5 〈31.6〉	ー	ー
末梢性神経障害治療剤 メチコバール	64	126	82	28.9 〈11.3〉	ー	ー
アルツハイマー型認知症治療剤 アリセプト	44	88	54	22.5 〈5.7〉	ー	ー
胃炎・胃潰瘍治療剤 セルベックス	47	99	53	12.8 〈△2.7〉	ー	ー
筋弛緩改善剤 ミオナール	40	75	50	26.2 〈8.9〉	ー	ー
肝臓疾患用剤・アレルギー用薬 強力ネオミノファーゲンシー／グリチロン錠	39	79	36	△8.1 〈△20.8〉	ー	ー
抗てんかん剤 フィコンパ	26	53	30	15.1 〈△0.5〉	ー	ー
不眠症治療剤 デエビゴ	10	27	28	173.0 〈136.7〉	45	62.5

・前年同期からの増減率を示しています。

・増減率の＜　＞内は為替の影響を除いた数値を示しています。

・中国における2025年度中間期のレケンビの売上収益は、同年度1Qに代理店が在庫を積み増した影響を含みます。

4）EMEA　医薬品事業（欧州、中東、アフリカ、ロシア、オセアニア）

（億円、%）

	2025年度		2026年度			
	中間期実績	通期実績	中間期実績	増減率	通期予想	進捗率
売上収益	388	815	437	12.6 <1.7>	730	59.8
セグメント利益	64	75	101	59.0 <61.2>	ー	ー
EMEA　主力品売上収益						
抗がん剤 レンビマ／Kisplyx	231	492	283	22.5 <10.5>	455	62.3
抗てんかん剤 フィコンパ	81	173	78	△3.8 <△12.9>	ー	ー
不眠症治療剤 デエビゴ	5	13	15	183.1 <143.4>	ー	ー
アルツハイマー病治療剤 レケンビ	4	16	10	168.6 <133.9>	ー	ー

・前年同期からの増減率を示しています。

・増減率の＜　＞内は為替の影響を除いた数値を示しています。

5）イーストアジア・グローバルサウス（EAGS）　医薬品事業（韓国、台湾、インド、アセアン、中南米、南アフリカ等）

（億円、%）

	2025年度		2026年度			
	中間期実績	通期実績	中間期実績	増減率	通期予想	進捗率
売上収益	341	688	399	17.0 <10.0>	795	50.1
セグメント利益	125	223	141	12.4 <2.4>	ー	ー
EAGS　主力品売上収益						
抗がん剤 レンビマ	93	171	95	2.8 <△5.9>	175	54.4
アルツハイマー型認知症治療剤 アリセプト	75	146	72	△4.7 <△8.9>	ー	ー
アルツハイマー病治療剤 レケンビ	19	50	51	170.8 <158.4>	115	44.3
不眠症治療剤 デエビゴ	14	34	25	85.7 <74.5>	55	46.3
末梢性神経障害治療剤 メチコバール	19	42	24	21.1 <15.5>	ー	ー
プロトンポンプ阻害剤 パリエット	19	40	22	11.6 <5.7>	ー	ー
抗がん剤 ハラヴェン	18	35	18	△1.5 <△9.7>	ー	ー
抗てんかん剤 フィコンパ	11	23	12	2.0 <△2.7>	ー	ー

・前年同期からの増減率を示しています。

・増減率の＜　＞内は為替の影響を除いた数値を示しています。

5. 主力品売上収益

（億円、%）

	2025年度		2026年度			
	中間期実績	通期実績	中間期実績	増減率	通期予想	進捗率
主力品(3L)合計	2,368	4,948	2,958	24.9 <15.4>	5,620	52.6
レンビマ／Kisplyx(抗がん剤)	1,665	3,425	1,948	17.0 <6.9>	3,450	56.5
日本	70	141	72	2.3	135	53.4
アメリカス	1,144	2,372	1,359	18.7 <8.8>	2,425	56.0
中国	127	250	138	9.2 <△5.5>	260	53.1
EMEA	231	492	283	22.5 <10.5>	455	62.3
EAGS	93	171	95	2.8 <△5.9>	175	54.4
レケンビ(アルツハイマー病治療剤)	411	880	615	49.7 <39.0>	1,435	42.9
日本	117	244	130	11.6	330	39.5
アメリカス	193	446	327	69.8 <55.6>	775	42.2
中国	79	124	97	22.7 <6.0>	190	51.0
EMEA	4	16	10	168.6 <133.9>	―	―
EAGS	19	50	51	170.8 <158.4>	115	44.3
デエビゴ(不眠症治療剤)	291	643	395	35.7 <31.1>	735	53.8
日本	220	465	250	13.2	485	51.5
アメリカス	42	105	77	86.2 <71.3>	135	57.3
中国	10	27	28	173.0 <136.7>	45	62.5
EMEA	5	13	15	183.1 <143.4>	―	―
EAGS	14	34	25	85.7 <74.5>	55	46.3

・前年同期からの増減率を示しています。

・増減率の＜　＞内は為替の影響を除いた数値を示しています。

・3L：LENVIMA、LEQEMBI、DAYVIGO (lemborexant)

・中国における2025年度中間期のレケンビの売上収益は、同年度1Qに代理店が在庫を積み増した影響を含みます。

6. 連結包括利益計算書

（億円、%）

	2025年度		2026年度		
	中間期実績	通期実績	中間期実績	増減率	増減額
中間(当期)利益	259	405	313	20.9	54
その他の包括利益					
損益に振り替えられることのない項目					
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	34	45	△24	―	△58
確定給付制度に係る再測定	―	12	―	―	―
小計	34	56	△24	―	△58
損益にその後に振り替えられる可能性のある項目					
在外営業活動体の換算差額	82	592	△67	―	△149
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△1	△1	△3	―	△2
小計	81	591	△70	―	△151
その他の包括利益合計	115	647	△94	―	△209
中間(当期)包括利益	373	1,053	219	△41.5	△155
中間(当期)包括利益の帰属					
親会社所有者	361	1,032	205	△43.1	△156
非支配持分	12	20	13	5.9	1

・前年同期からの増減率を示しています。

7. 連結キャッシュ・フロー計算書

（億円）

	2025年度 中間期実績	2026年度 中間期実績	2026年度 増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引前中間利益	369	416	47
減価償却費及び償却費	195	187	△8
減損損失	13	4	△9
運転資本の増減額（△は増加）	△276	△232	44
利息及び配当金の受取額	43	39	△3
利息の支払額	△19	△27	△8
法人所得税の支払額	△69	△99	△29
その他	△33	9	42
営業活動によるキャッシュ・フロー	223	297	75
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△70	△100	△30
無形資産の取得による支出	△39	△13	26
有形固定資産・無形資産の売却による収入	1	49	48
子会社の取得による支出	△126	―	126
金融資産の取得による支出	△7	△16	△9
金融資産の売却・償還による収入	114	113	△1
小計＜資本的支出等（キャッシュベース）＞	△126	33	159
3カ月超預金の預入による支出	△0	―	0
3カ月超預金の払戻による収入	0	―	△0
その他	△2	△2	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△128	31	160
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の増減額（△は減少）	486	201	△286
社債の発行及び長期借入れによる収入	350	500	150
社債の償還及び長期借入金の返済	△350	△0	350
リース負債の返済による支出	△52	△54	△2
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△5	―	5
配当金の支払額	△226	△226	0
その他	△5	△8	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	199	413	214
現金及び現金同等物に係る換算差額	67	△22	△89
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	361	720	360
現金及び現金同等物の期首残高	2,656	2,454	△201
現金及び現金同等物の期末残高	3,016	3,175	158

フリー・キャッシュ・フロー	96	330	234

・フリー・キャッシュ・フロー＝（営業活動によるキャッシュ・フロー）－（資本的支出等（キャッシュベース））

＜コメント＞

■営業活動によるキャッシュ・フロー
売掛金や「レケンビ」等の棚卸資産が増加したことにより、運転資本が増加

■投資活動によるキャッシュ・フロー
主に金融資産の売却による収入が発生

■財務活動によるキャッシュ・フロー
配当金の支払いを実施した一方で、社債および短期借入金が増加

8. 資本的支出及び減価償却費の状況

（億円）

	2025年度		2026年度		
	中間期実績	通期実績	中間期実績	増減額	通期予想
資本的支出額(キャッシュベース)	109	412	113	5	300
有形固定資産	70	154	100	30	―
無形資産	39	258	13	△26	―
減価償却費及び償却費	195	395	187	△8	375
有形固定資産	110	225	115	5	―
無形資産	85	171	72	△13	―

9. 連結財政状態計算書

＜資産の部＞

（億円、%）

	2025年度		2026年度			
	3月末	構成比	9月末	構成比	前期末比	増減額
資産						
非流動資産						
有形固定資産	1,610	11.1	1,576	10.3	97.8	△35
のれん	2,592	17.9	2,554	16.8	98.5	△38
無形資産	881	6.1	832	5.5	94.4	△50
その他の金融資産	624	4.3	494	3.2	79.1	△130
その他	87	0.6	87	0.6	100.5	0
繰延税金資産	1,080	7.5	1,036	6.8	95.9	△45
非流動資産合計	6,875	47.4	6,578	43.1	95.7	△297
流動資産						
棚卸資産	2,575	17.8	2,726	17.9	105.8	151
営業債権及びその他の債権	2,270	15.7	2,374	15.6	104.6	104
その他の金融資産	9	0.1	4	0.0	45.6	△5
その他	308	2.1	389	2.6	126.4	81
現金及び現金同等物	2,454	16.9	3,175	20.8	129.4	720
流動資産合計	7,616	52.6	8,668	56.9	113.8	1,052
資産合計	14,491	100.0	15,246	100.0	105.2	755

＜コメント＞

■資産の部	
（棚卸資産）	「レケンビ」等の生産を進めたことなどによる在庫の増加
（現金及び現金同等物）	社債の発行および短期借入れによる増加

＜資本及び負債の部＞

（億円、%）

	2025年度		2026年度			
	3月末	構成比	9月末	構成比	前期末比	増減額
資本						
親会社の所有者に帰属する持分						
資本金	450	3.1	450	3.0	100.0	―
資本剰余金	743	5.1	742	4.9	99.8	△1
自己株式	△423	△2.9	△423	△2.8	100.0	△0
利益剰余金	5,109	35.3	5,159	33.8	101.0	50
その他の資本の構成要素	3,111	21.5	3,041	19.9	97.8	△70
親会社の所有者に帰属する持分合計	8,990	62.0	8,969	58.8	99.8	△21
非支配持分	261	1.8	269	1.8	102.9	8
資本合計	9,251	63.8	9,237	60.6	99.9	△14
負債						
非流動負債						
社債及び借入金	1,348	9.3	1,846	12.1	137.0	498
その他の金融負債	338	2.3	312	2.0	92.4	△26
引当金	16	0.1	16	0.1	98.9	△0
その他	119	0.8	102	0.7	85.4	△17
繰延税金負債	17	0.1	18	0.1	105.4	1
非流動負債合計	1,837	12.7	2,294	15.0	124.8	456
流動負債						
社債及び借入金	513	3.5	703	4.6	137.1	190
営業債務及びその他の債務	759	5.2	817	5.4	107.6	58
その他の金融負債	163	1.1	222	1.5	136.5	59
未払法人所得税	67	0.5	66	0.4	99.1	△1
引当金	466	3.2	493	3.2	105.8	27
その他	1,435	9.9	1,414	9.3	98.5	△21
流動負債合計	3,403	23.5	3,715	24.4	109.2	312
負債合計	5,240	36.2	6,009	39.4	114.7	769
資本及び負債合計	14,491	100.0	15,246	100.0	105.2	755

＜コメント＞

■資本の部	
（その他の資本の構成要素）	為替の影響による在外営業活動体の換算差額の減少
■負債の部	
（社債及び借入金－非流動）	社債の増加
（社債及び借入金－流動）	短期借入金の増加

10. 連結四半期業績の推移

1）損益計算書項目

（億円、%）

	2025年度				2026年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	増減率	2Q	増減率
売上収益	2,027	1,974	2,199	2,054	2,343	15.6	2,356	19.4
売上原価	426	455	511	520	511	19.9	535	17.5
売上総利益	1,601	1,518	1,689	1,534	1,832	14.5	1,822	20.0
販売費及び一般管理費	1,002	1,039	1,117	1,195	1,148	14.6	1,204	15.9
販売費	541	565	608	586	650	20.2	681	20.5
人件費	309	313	329	408	329	6.5	337	7.4
管理費他	152	160	180	202	169	11.4	186	16.2
研究開発費	388	367	392	439	437	12.7	444	20.9
その他の損益	△4	24	21	△3	0	―	△6	―
営業利益	207	137	200	△103	247	19.2	167	22.1
金融損益	17	9	20	24	6	△66.6	△4	―
税引前四半期利益	224	145	220	△79	253	12.8	163	12.5
法人所得税	71	40	42	△47	61	△13.2	42	5.8
四半期利益	153	105	178	△32	192	24.9	121	15.0
四半期利益の帰属								
親会社所有者	145	102	172	△32	182	26.0	117	15.1
非支配持分	9	4	7	1	9	5.4	4	13.5
四半期包括利益	111	263	585	95	312	181.7	△93	―
EPS（円）	51.35	36.03	60.94	△11.53	64.71	26.0	41.47	15.1

・前年同四半期からの増減率を示しています。

・EPS：基本的1株当たり四半期利益

2)キャッシュ・フロー計算書項目

(億円)

	2025年度				2026年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
営業活動によるキャッシュ・フロー	11	212	350	41	△26	323
投資活動によるキャッシュ・フロー	△94	△35	△13	△276	65	△33
財務活動によるキャッシュ・フロー	261	△62	△319	△491	579	△166
現金及び現金同等物の期末残高	2,854	3,016	3,194	2,454	3,117	3,175
フリー・キャッシュ・フロー	△82	179	336	△236	40	290

・フリー・キャッシュ・フロー＝(営業活動によるキャッシュ・フロー)－(資本的支出等(キャッシュベース))

3)資本的支出及び減価償却費の状況

(億円)

	2025年度				2026年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
資本的支出額(キャッシュベース)	71	37	39	264	52	61
有形固定資産	45	25	33	50	43	58
無形資産	26	13	6	214	10	3
減価償却費及び償却費	97	98	101	100	94	92
有形固定資産	55	55	57	57	57	58
無形資産	42	43	43	42	37	35

4)財政状態計算書項目

(億円)

	2025年度				2026年度	
	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末
資産	14,096	14,380	14,862	14,491	15,581	15,246
資本	8,535	8,798	9,157	9,251	9,332	9,237
親会社の所有者に帰属する持分	8,285	8,544	8,896	8,990	9,066	8,969
負債	5,561	5,582	5,706	5,240	6,249	6,009
社債及び借入金	2,389	2,367	2,310	1,861	2,713	2,549
親会社所有者帰属持分比率(%)	58.8	59.4	59.9	62.0	58.2	58.8
負債比率(Net DER／倍)	△0.08	△0.10	△0.12	△0.09	△0.05	△0.08

・負債比率(Net DER)＝(有利子負債(借入金)－現金及び現金同等物－3カ月超預金等－親会社保有投資有価証券)÷親会社の所有者に帰属する持分

5)主力品売上収益の四半期推移

（億円、%）

	2025年度				2026年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	増減率	2Q	増減率
主力品(3L)合計	1,207	1,160	1,309	1,272	1,455	20.5	1,503	29.6
レンビマ／Kisplyx	839	826	916	844	973	15.9	975	18.0
日本	36	35	37	33	37	3.0	35	1.5
アメリカス	581	564	641	586	665	14.5	694	23.1
中国	69	58	66	58	68	△0.9	70	21.2
EMEA	110	121	132	129	151	36.6	133	9.7
EAGS	43	49	40	38	52	20.3	43	△12.7
レケンビ	231	180	207	262	293	26.7	322	79.2
日本	55	62	62	65	61	10.9	70	12.3
アメリカス	91	102	119	134	155	70.5	172	69.2
中国	77	2	4	40	48	△37.3	49	2064.2
EMEA	1	2	7	5	5	341.2	4	78.7
EAGS	8	11	14	17	24	214.0	27	141.6
デエビゴ	137	154	186	166	189	37.9	206	33.8
日本	110	111	132	112	124	13.4	125	13.1
アメリカス	19	23	30	33	33	74.5	45	95.8
中国	1	10	12	4	14	1779.1	14	47.3
EMEA	2	3	3	5	6	217.3	8	161.7
EAGS	6	8	9	11	12	95.1	14	78.2

・前年同四半期からの増減率を示しています。

・3L：LENVIMA、LEQEMBI、DAYVIGO (lemborexant)

・中国における2025年度1Qのレケンビの売上収益は、代理店が在庫を積み増した影響を含みます。

11. 株式の状況

1)株式数・株主数の状況

2026年9月30日現在

発行可能株式総数	発行済株式の総数	自己株式数	株主数	株主1人当たりの平均持株数
1,100,000,000株	291,649,149株	9,190,618株	120,266名	2,425株

・発行済株式の総数は自己株式数を含めて表示しています。

2)大株主の状況

2026年9月30日現在

株主名	持株数	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	53,645千株	18.99
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	27,044千株	9.57
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	14,405千株	5.10
日本生命保険相互会社	6,500千株	2.30
JPモルガン証券株式会社	5,232千株	1.85
公益財団法人内藤記念科学振興財団	4,212千株	1.49
野村信託銀行株式会社(投信口)	4,151千株	1.47
JP MORGAN CHASE BANK 385781	4,138千株	1.47
HSBC HONG KONG-TREASURY SERVICES A/C ASIAN EQUITIES DERIVATIVES	2,987千株	1.06
BNYM AS AGT/CLTS 10 PERCENT	2,654千株	0.94

・株式数は、千株未満を切捨てて表示しています。
・持株比率は、発行済株式(自己株式を除く)の総数に対する割合です。
・自己株式は9,190千株(発行済株式の総数に対する所有割合3.15%)であり、議決権がないため表中に記載していません。
・当中間期末までに以下の大量保有報告書(変更報告書)が提出されていますが、当中間期末の株主名簿で確認できない場合、または保有株式数が上位10位に該当しない場合は、表中に記載していません。なお、( )内の保有割合は、自己株式を含む発行済株式の総数に対する割合(切り捨て表示)です。
①三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社、アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社の共同保有として、18,572千株(6.37%)を2025年9月15日現在で保有(2025年9月19日付変更報告書)
②野村アセットマネジメント株式会社として、21,252千株(7.29%)を2026年6月30日現在で保有(2026年7月6日付変更報告書)
③ブラックロック・ジャパン株式会社他、全12社の共同保有として、24,839千株(8.52%)を2026年7月15日現在で保有(2026年7月21日付変更報告書)

3)所有者別所有株式数推移

	2025年度		2026年度		
	3月末	構成比(%)	9月末	構成比(%)	増減
金融機関	99,490千株	34.1	101,670千株	34.9	2,179千株
金融商品取引業者(証券会社)	18,140千株	6.2	12,540千株	4.3	△5,599千株
その他の法人	13,479千株	4.6	13,404千株	4.6	△75千株
外国法人等	94,361千株	32.4	96,439千株	33.1	2,077千株
個人・その他	56,641千株	19.4	58,404千株	20.0	1,762千株
自己株式	9,535千株	3.3	9,190千株	3.2	△344千株
合計	291,649千株	100.0	291,649千株	100.0	ー

・株式数は千株未満を切捨てて表示しています。

12. 従業員数

1)連結従業員数

(人)

	2023年度 3月末	2024年度 3月末	2025年度 3月末	2026年度 9月末
連結期末従業員数	11,067	10,917	10,543	10,439
日本	4,311	4,330	4,432	4,485
アメリカス(北米)	1,920	1,866	1,669	1,642
中国	1,948	1,862	1,827	1,784
EMEA(欧州、中東、アフリカ、ロシア、オセアニア)	1,305	1,351	1,159	1,117
EAGS(韓国、台湾、インド、アセアン、中南米、南アフリカ等)	1,583	1,508	1,456	1,411

2)個別従業員数

(人)

	2023年度 3月末	2024年度 3月末	2025年度 3月末	2026年度 9月末
個別期末従業員数	2,984	2,998	2,979	2,997
生産	400	399	409	427
研究開発	882	893	896	920
販売・管理	1,702	1,706	1,674	1,650

・期末従業員数は、就業人員数(当社から社外への出向者を除き、社外から当社への出向者を含む)を表示しています。

13. 主要開発品

NCT：ClinicalTrials.gov の識別番号、 jRCT：Japan Registry of Clinical Trials の識別番号
日：日本、米：米国、欧：欧州、中：中国、P：Phase（臨床試験段階）
〇：2026 年 4 月以降の進捗、◎：2026 年 7 月以降の進捗

(1)神経

開発品コード：**BAN2401** 一般名：**レカネマブ** 製品名：**レケンビ**				導入品（BioArctic）
薬効／作用機序：アルツハイマー病治療剤／抗 Aβ プロトフィブリル抗体				注射剤（点滴静注・皮下注射）
[概要] アミロイドベータ（Aβ）の可溶性（プロトフィブリル）および不溶性凝集体に対するヒト化 IgG1 モノクローナル抗体で、アルツハイマー病（AD）の進行を抑制し、認知機能と日常生活機能の低下を遅らせます。早期 AD に係る適応で、日本、米国、欧州、中国、アジアなどの 53 の国と地域で承認を取得し、6 カ国で承認申請中です。点滴静注による維持療法について、米国、中国など 9 の国と地域で承認を取得し、11 の国と地域で申請中です。皮下注オートインジェクター（SC-AI）に関して、維持療法（360 mg）は米国で承認を取得しています。SC-AI による初期療法（500 mg）は、2026 年 7 月に米国、同年 9 月に中国および日本で承認を取得しました。現在、4 カ国で承認申請中です。なお、米国における SC-AI は、LEQEMBI IQLIK の製品名で発売しています。Biogen と共同開発を行っています。				
早期 AD 点滴静注維持療法（用法用量追加）		欧州（EU）		申請（2026 年 1 月受理）
201/301 試験	NCT01767311/NCT03887455			
早期 AD 皮下注射製剤初期療法（500 mg）		米国 中国 日本	◎ ◎ ◎	承認（2026 年 7 月） 承認（2026 年 9 月） 承認（2026 年 9 月）
301 試験	NCT03887455			
プレクリニカル AD（効能効果追加）		日米欧		PⅢ
303 試験（AHEAD 3-45）	NCT04468659			

開発品コード：**E2006** 一般名：**レンボレキサント** 製品名：**デエビゴ**				自社品
薬効／作用機序：不眠症治療剤／オレキシン受容体拮抗剤				経口剤
[概要] 睡眠と覚醒の調整に関与するオレキシンの受容体に拮抗し、覚醒を抑制することで、速やかな入眠と睡眠維持をもたらすことが期待されます。不眠症に係る適応で、日本、米国、中国、アジアなどにおいて承認を取得しています。				
不眠症		英国 欧州（EU）	〇 ◎	申請（2026 年 6 月受理） 申請（2026 年 7 月受理）
303/304 試験	NCT02952820/NCT02783729			

開発品コード：**E2814** 一般名：**etalanetug**				共同創出品（ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン）
薬効／作用機序：抗 MTBR タウ抗体				注射剤
[概要] 当社とユニバーシティ・カレッジ・ロンドンとの共同研究を通じて見出された抗微小管結合領域（Microtubule binding region: MTBR）タウ抗体です。タウ伝播種の脳内拡散を抑制することを期待しています。顕性遺伝アルツハイマーネットワーク試験ユニット（DIAN-TU）が実施する臨床試験（フェーズⅡ／Ⅲ試験 Tau NexGen）において、抗タウ薬として最初の評価対象薬に選定されました。2025 年 9 月、米国 FDA よりファストトラックの指定を受領しました。				
顕性遺伝 AD（レカネマブとの併用療法）		日米欧		PⅡ／Ⅲ
Tau NexGen 試験	NCT05269394			
孤発性早期 AD（レカネマブとの併用療法）		日米		PⅡ
202 試験	NCT06602258			

開発品コード：**EA8001**　一般名：**evenamide**				導入品（Newron）
薬効／作用機序：グルタミン酸の過剰放出モジュレーター				経口剤
［概要］ 選択的に電位依存性ナトリウムチャネルを遮断することで、グルタミン酸の過剰放出を正常化します。EA ファーマが、日本およびその他のアジア地域における開発・製造および販売に関する権利を取得し、開発を行っています。				
抗精神病薬 2 剤以上に対して不応又は効果不十分な統合失調症		日本		PⅢ
CT1 試験	jRCT2031250620			

開発品コード：**E2086**　一般名：**ledasorexton**				自社品
薬効／作用機序：オレキシン 2 受容体作動薬				経口剤
［概要］ 当社独自のオレキシンプラットフォームを活用し創製された選択的オレキシン 2 受容体作動薬で、日中の過度の眠気や情動脱力発作などを改善することを期待しています。2026 年 2 月、厚生労働省より希少疾病用医薬品（オーファンドラッグ）に指定されました。				
ナルコレプシー		日米欧中		PⅡ
202 試験	NCT07493265			

開発品コード：**E2511**				自社品
薬効／作用機序：TrkA 統合シナプス再生剤				経口剤
AD		カナダ	◎	PⅠb

開発品コード：**E2025**				自社品
薬効／作用機序：抗 EphA4 抗体				注射剤
AD		米国		PⅠ

(2)がん

開発品コード:**E7080** 一般名:**レンバチニブ** 製品名:**レンビマ**				自社品
薬効／作用機序:抗がん剤／キナーゼ阻害剤				経口剤
[概要] 血管内皮増殖因子受容体(VEGFR)である VEGFR1、VEGFR2、VEGFR3 や線維芽細胞増殖因子受容体(FGFR)の FGFR1、FGFR2、FGFR3、FGFR4 に加え、血小板由来増殖因子受容体(PDGFR)の PDGFRα、KIT、RET などの腫瘍血管新生あるいは腫瘍悪性化に関与する受容体型チロシンキナーゼに対する選択的阻害活性を有する、経口投与可能な自社創製のマルチキナーゼ阻害剤です。単剤療法として、甲状腺がんおよび肝細胞がん(ファ―ストライン)に係る適応で、日本、米国、欧州、中国、アジアなどにおいて承認を取得しており、胸腺がんに係る適応で、日本、アジアにおいて承認を取得しています。エベロリムスとの併用療法では、腎細胞がん(セカンドライン)に係る適応で、米国、欧州、アジアなどにおいて承認を取得しています。ペムブロリズマブとの併用療法では、腎細胞がん(ファ―ストライン)に係る適応で、日本、米国、欧州、アジアなどにおいて承認を取得しており、子宮内膜がん(全身療法後)に係る適応で、日本、米国、欧州、アジアなどにおいて承認(一部の条件付き承認の国を含む)を取得しています。なお、欧州における腎細胞がんに係る適応においては、Kisplyx の製品名で発売しています。Merck & Co., Inc., Rahway, NJ, USA(米メルク社)と共同開発を行っています。				
経口低酸素誘導因子 2 アルファ阻害剤ベルズチファンとの併用療法　米メルク社と共同開発(効能効果追加)				
腎細胞がん		米国 日本	◎	承認(2026 年 9 月) 申請(2026 年 3 月)
LITESPARK-011	NCT04586231			

開発品コード:**E7389** 一般名:**エリブリン** 製品名:**ハラヴェン**				自社品
薬効／作用機序:抗がん剤／微小管ダイナミクス阻害剤				注射剤
[概要] クロイソカイメン由来のハリコンドリンBの合成類縁体で、微小管の伸長を阻害し細胞周期を停止させることで抗腫瘍活性を示します。日本、米国、欧州、中国、アジアなどにおいて乳がんに係る適応で承認を取得しています。また、日本、米国、欧州、アジアなどにおいて脂肪肉腫(日本では悪性軟部腫瘍)に係る適応で承認を取得しています。				
単剤療法(剤形追加)				
リポソーム製剤		日欧		ＰⅠ
抗 PD-1 抗体ニボルマブとの併用療法　小野薬品と共同開発(剤形追加)				
リポソーム製剤		日本		ＰⅠb/Ⅱ
120 試験	NCT04078295			

開発品コード:**E7090** 一般名:**タスルグラチニブ** 製品名:**タスフィゴ**				自社品
薬効／作用機序:抗がん剤／FGFR1、FGFR2、FGFR3 阻害剤				経口剤
[概要] 経口投与可能な線維芽細胞増殖因子受容体(FGFR1、FGFR2、FGFR3)選択的チロシンキナーゼ阻害剤です。日本において、胆道がんに係る適応で承認を取得しています。				
乳がん		日本		ＰⅠb

開発品コード:**E7860** 一般名:**タレトレクチニブ**				導入品(Nuvation Bio)
薬効／作用機序:抗がん剤／ROS1 阻害剤				経口剤
[概要] ROS1 陽性非小細胞肺がん (NSCLC)治療における次世代の経口 ROS1高選択的チロシンキナーゼ阻害剤です。2026 年 1 月に Nuvation Bio から欧州、中東、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド、シンガポール、フィリピン、インドネシア、タイ、マレーシア、ベトナム、インドにおける独占的開発、薬事、商業化の権利を取得しました。米国、中国、日本においては、進行 ROS1 陽性 NSCLC に係る適応で承認されています。EU、英国のほか、カナダ、オーストラリアなどで申請中です。				
非小細胞肺がん(ROS1 陽性)		欧州(EU) 英国	○	申請(2026 年 3 月受理) 申請(2026 年 6 月受理)
TRUST-I/Ⅱ	NCT04395677/NCT04919811			

開発品コード：**MORAb-202**　一般名：**farletuzumab ecteribulin（FZEC）**				自社品
薬効／作用機序：抗がん剤／葉酸受容体αをターゲットとする抗体薬物複合体（ADC）				注射剤
[概要] 抗葉酸受容体α抗体と既に承認されている抗がん剤エリブリンを、リンカーを介して結合したADCです。腫瘍部位にエリブリンを集中させ、葉酸受容体α陽性の卵巣がん、腹膜がん、卵管がんなどへの治療効果を期待しています。				
卵巣がん、腹膜がん、卵管がん（単剤またはレンバチニブとの併用療法）		日米欧		ＰⅠ／Ⅱ
201 試験	NCT04300556			

開発品コード：**E7386**				共同創出品（PRISM BioLab）
薬効／作用機序：抗がん剤／CBP/β-catenin 相互作用阻害剤				経口剤
[概要] CREB-binding protein（CBP）とβ-catenin のタンパク質-タンパク質相互作用を阻害し、Wnt シグナルに依存した遺伝子発現を調節します。Wnt シグナルに依存した腫瘍増殖の抑制を期待しています。				
固形がん（レンバチニブとの併用療法）		日米欧中		ＰⅠb/Ⅱ
102 試験	NCT04008797			
固形がん		日米欧		ＰⅠ

開発品コード：**H3B-6545**				自社品
薬効／作用機序：抗がん剤／ERα 阻害剤				経口剤
[概要] 経口投与可能な選択的エストロゲン受容体（ER）α共有結合型アンタゴニストであり、野生型および変異型 ERα をともに阻害します。ER 陽性／HER2 陰性の乳がんに対する抗腫瘍効果を期待しています。				
乳がん（CDK4/6 阻害剤パルボシクリブとの併用療法）		米欧		ＰⅠb

開発品コード：**E7766**				自社品
薬効／作用機序：抗がん剤				注射剤
固形がん		米欧		ＰⅠb

(3)グローバルヘルス

開発品コード:**E1224** 一般名:**ホスラブコナゾール**	自社品
薬効／作用機序:抗真菌剤／エルゴステロール合成阻害剤	経口剤
[概要] 独立非営利財団 Drugs for Neglected Diseases initiative(DNDi)と、世界で最も顧みられない病気の一つであるマイセトーマ(菌腫)の内、特にアンメット・メディカル・ニーズの高い真菌性菌腫(eumycetoma)に対する新規治療薬として共同開発を行っています。当社は非臨床試験および治験薬の提供などを担当しています。本剤のフェーズⅡ試験は、スーダンにて DNDi およびスーダンのハルツーム大学菌腫研究センターにより行われました。現在、スーダンにおける承認申請に向けた準備を進めています。公益社団法人グローバルヘルス技術振興基金(GHIT Fund)の助成を受けています。	

開発品コード:**SJ733**	共同開発品(ケンタッキー大学)
薬効／作用機序:抗マラリア剤／ATP4 阻害剤	経口剤
[概要] マラリア蔓延地域での治療に適した、即効性と安全性に優れ、持続的な治癒と再感染防止を可能とし、現在問題となっている既存の抗マラリア薬への耐性を克服する薬剤となることを期待しています。ケンタッキー大学と共同研究を行っており、当社は原薬の提供と製剤製造を担当しています。本剤のフェーズⅡ試験は、ペルーにてケンタッキー大学により行われています。GHIT Fund の助成を受けています。	

開発品コード:**E1018**	共同創製品(ブロード研究所)
薬効／作用機序:抗マラリア剤／タンパク質合成阻害剤	経口剤
[概要] ブロード研究所との共同研究により見出された、マラリアを迅速に治癒し、マラリア原虫の伝播を断ち切ることでマラリアの再発を防ぐことが期待される化合物であり、当社がフェーズⅠ試験を実施しています。米国国防総省の助成を受けています。	

マラリア	米国		PⅠ

(4)消化器

開発品コード:**AJG555** 製品名:**モビコール配合内用剤**	導入品(Norgine)
薬効／作用機序:慢性便秘症治療剤／ポリエチレングリコール製剤	経口剤
[概要] ポリエチレングリコール製剤により腸管内の浸透圧制御を行うことで排便を促す経口便秘薬です。日本において、1 歳以上の小児および成人の慢性便秘症の治療を適応として承認を取得しています。EA ファーマが開発しています。	

慢性便秘症1歳児の適応(用法用量追加)		日本	◎	承認(2026 年 9 月)
CT3 試験	jRCT2031230142			

開発品コード:**AJM347**	自社品
薬効／作用機序:—	経口剤

炎症性腸疾患(EA ファーマが Ensho Therapeutics, Inc.と共同開発)	欧州		PⅠ

開発品コード:**EA1080**	自社品
薬効／作用機序:—	経口剤

炎症性腸疾患(EA ファーマが Ensho Therapeutics, Inc.と共同開発)	欧州		PⅠ

開発品コード:**EA3571**	自社品
薬効／作用機序:—	経口剤

代謝機能障害関連脂肪肝炎(EA ファーマが開発)	日本		PⅠ

(5)その他

<table>
<tr><td colspan="3">開発品コード:E6742
薬効／作用機序:全身性エリテマトーデス(SLE)治療剤／TLR7/8 阻害剤</td><td colspan="2">自社品
経口剤</td></tr>
<tr><td colspan="5">[概要] 自然免疫系の受容体である Toll 様受容体(TLR)は、活性化により炎症反応や抗ウイルス応答を引き起こします。本剤は SLE の発症機序に関連しているとされる TLR7/8 の経口選択的阻害剤です。国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)の医療研究開発革新基盤創成事業(CiCLE)に採択されています。</td></tr>
<tr><td colspan="2">SLE</td><td rowspan="2">日中</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">PⅡ</td></tr>
<tr><td>201 試験</td><td>NCT07515014</td></tr>
</table>